

特別規則書

公示

本競技会はJAF公認のもとに、FIAの国際モータースポーツ競技規則に準拠した日本自動車連盟(JAF)の国内競技規則及び、本特別規則に従って地方競技およびクロズド競技として開催される。

第1条 競技会の名称

2020クレバーサーキットトライアル in 筑波 第1戦～第4戦 - Aライ講習会付

第2条 競技種目

サーキットトライアル

第3条 オーガナイザー

チームクレバーレーシング 代表 平塚 由紀人

〒143-0012 東京都大田区大森東1-32-5-901

TEL 03-3766-3312 Fax 03-3766-3351

第4条 開催日及び場所

第1戦	2020年 3月20日(祝)	筑波サーキット	コース2000
第2戦	2020年 5月 2日(土)	筑波サーキット	コース2000
第3戦	2020年 9月 6日(日)	筑波サーキット	コース2000
第4戦	2020年12月19日(土)	筑波サーキット	コース2000

コース所在地： 筑波サーキット 茨城県下妻市村岡乙159 TEL 0296-44-3146
常磐自動車道谷和原I.Cより約30分

第5条 大会役員

1. 大会審査委員会

委員長 栗原 尚 委員 飯塚 光幸

2. 大会組織委員会

委員長 平塚 由紀人 委員 稲葉 実 委員 原田 稜子

3. 競技役員

競技長 平塚 由紀人 コース委員長 稲葉 実 計時委員長 原田 稜子
技術委員 平塚 由紀人 救急委員長 原田 稜子 事務局長 平塚 由紀人

第6条 参加資格および定員

A部門(Aライ講習会受講者限定クラス)

競技運転者は、同日開催するAライセンス講習会の受講者で2020年度有効なJAF国内競技運転者許可証Bの所持者とする。

参加台数は原則としてA部門30台までとする。

第7条 参加車両及びクラス区分

1.本競技会に参加が認められる車両は、2020年JAF国内競技車両規則、第3編スピード車両規定、第7章B車両規定に適合した車両とする。

2.クラス区分

A部門：同日開催のAライセンス講習会を受講される方限定のB車両。気筒容積(排気量)によるクラス区分はありません。(ライセンス必要)

第8条 参加申込

1) 参加申込みは次のいずれかの方法とする。

① 現金書留による申込み

参加申込書、誓約書、車両申告書を記入し、参加受付期間内に、申込み書類と参加料を現金書留にて送付すること。

② 銀行振込による申込み

参加申込書、車両申告書を記入し、参加料を指定の口座に振込み、受付期間内に、申し込み書類に口座振り込み控えのコピーを同封し、封書にて送付すること。(振込み手数料は各自の負担とする。)

③ インターネットからの申し込み

メールフォームに必要事項を入力し送信。参加料はメール送信後3日以内に指定の口座に振り込みすること。(振込み手数料は各自の負担とする。)

2) 同一車両による重複参加は認められない。

3) 参加受付期間

第1戦	2月 7日～ 3月13日迄(必着)
第2戦	3月16日～ 4月25日迄(必着)
第3戦	7月20日～ 8月30日迄(必着)
第4戦	7月22日～12月12日迄(必着)

4) 参加料

A部門 一般 11,000円 (Aライ講習会受講料は別途20,000円必要)

5) 参加申込先

チームクレバーレーシング

〒143-0012 東京都大田区大森東1-32-5-901

TEL 03-3766-3312 FAX03-3766-3351

6) 振込先

銀行名：三井住友銀行 大森支店 口座番号：(普) 1653667
 口座名：チーム クレバー レーシング ダイヒョウ ヒラツカユキヒト

7) 参加受理後の取消しは、参加料は返還されない。(Aライ講習会も同様)

8) 参加申込にあたり仮名で参加申込をすることが出来る。ただしA部門及びB部門においてはライセンス表記名が仮名で登録されている場合に限る。また仮名は10文字までとし、年間を通じて同じ名称を使うこと。

第9条 車両の変更

やむを得ない理由がある場合には、車両を変更することができる。その場合、開催日の3日前までに、新たな車両申告書を事務局に提出し、競技会審査委員会の承認を受けなければならない。車両変更がある場合にのみ、締め切り後の申告タイヤの変更を認める。

第10条 競技番号

競技番号(ゼッケン)は大会事務局が決定し、特別な要求は受け付けない。

第11条 車検

参加車両は公式車両検査を受けなければならない。

第12条 競技方法

1) 競技方法

A部門
本番 (約15分、計測有)
※コースオープンからチェッカーまで12分間となります。

2) A部門は1ヒートにて行う。

3) コースインは各車一定の間隔を置き競技役員の指示により行う。

4) 旗信号は国際スポーツスポーツ競技規則付則H項に準拠して使用する。

1. 競技長(あるいはその代理人)によって、メインポストにおいて使用される旗信号

a) 国旗またはクラブ旗	スタート
b) チェッカーフラッグ	競技終了。チェッカー後は追い越し禁止。1周してピットロードへ入る。
c) 赤旗	競技の中止。ドライバーはただちに速度を落とし、ピットレーンに進行すること。必要に応じて停車できる体制をとること。追い越し禁止。
d) 黒旗	指示を受けたドライバーは指定された場所に停車のこと。
e) オレンジの円形のある黒旗	車両に機械的欠陥がある。指定された場所に停止すること。
f) 黒と白に2分割された旗	スポーツ精神に反する行為に対する警告

2. オブザーベーションポストで使用される旗

a) 赤旗	競技の中止。ドライバーはただちに速度を落とし、ピットレーンに進行すること。必要に応じて停車できる体制をとること。追い越し禁止。
b) 黄旗	危険箇所あり、速度を落とせ。追い越し禁止。
c) 赤の縦縞のある黄旗	路面が滑りやすい。
d) 青旗	他の競技者が接近し追い越しを行おうとしている。
e) 白旗	低速走行車両がある。
f) 緑旗	コースクリア。追い越し禁止区間の解除。

第13条 タイヤ規定

注：指定タイヤは第14条参照

1) A部門

一般的に市販されている公道走行可能タイヤとし、指定タイヤの使用も認められる。

第14条 指定タイヤは下記のタイヤとし、年度途中で追加される場合もある。

ヨコハマ	A050、A048、A049
ブリヂストン	RE11S、RE55S
ダンロップ	03G、02G
トーヨー	888、881
オーツ	RS-V04、RS-VII、
ミシュラン	パイロットスポーツカップ
HANKKOK	Z221
ニッター	NT05
KUMHO	V710
HOOSIER	Sports Car DOT Radial
その他	上記以外の主催者指定のタイヤ
19インチ以上のタイヤ(メーカー問わず)	

第15条 順位の決定

1) A部門の順位の決定は走行タイムの短い方を上位とする。同タイムの場合は排気量の小さい方を上位とする。

第16条 賞典

入賞は出走台数の35%を超えない6位までとする。(小数点以下切り捨て)

各クラス 1位～6位 トロフィーまたは盾またはメダル

第17条 A部門には無関係の為、省略

第18条 損害の補償

- 1) 参加者は参加車両及び付属品が破損した場合、理由の如何に関わらず、その責任は各自が負わなければならない。
- 2) 参加者及びその関係者が会場施設、器物の破壊汚損等、損害を与えた場合は理由の如何に関わらず 加害者が責任を負うものとする。
- 3) オーガナイザー、競技役員、係員、コース所有者には、いかなる損害の賠償であっても、請求することができない。

第19条 抗議

- 1) 参加者は本特別規則に規定する以外で、自分が不当に処遇されていると判断する場合には、抗議することができる。その場合、国内競技規則に定める抗議の制限時間内に抗議を提出する。ただし審判員の判定、使用コース、計時装置に関する抗議は認めない。
- 2) 抗議は文書にて行い、抗議料 21,200円を添えて競技長に提出する。
- 3) 抗議が正当と裁定された場合にのみ抗議料は返還され、それ以外は没収される。

第20条 大会の成立

本大会は第1ヒートが終了した時点で成立する。

第21条 競技会の延期、中止または短縮

- 1) 競技は天候には関わらず開催するものとする。
- 2) 保安上または不可抗力による特別の事情があるときは、競技会審査委員会の決定によって競技会の延期、中止、または競技回数を短縮することができる。
- 3) 競技会の延期または中止の場合、参加料は原則として、次戦に振り替えるものとする。どうしても参加ができない場合には、事務手数料1500円を差し引いて参加料は返還される。返金の対象は、参加受付が開始された場合は、受付をされた方とし、参加受付以前に中止が決定された場合は、来場の如何に関わらず返金するものとする。

第22条 本規則の解釈

本規則及び本大会の競技に関する諸規則や公式通知の解釈に疑義が生じた場合には、競技会審査委員会の決定を最終的なものとしてなされる。

第23条 本規則の違反

本規則に対する違反宣告は審査委員長が行い、訓戒、タイム加算、失格等がその違反の軽重に応じて適用される。

第24条 本規則の施行

本規則は参加受付と同時に施行する。

2020 クレバーサーキットトライアル in 筑波 組織委員会

参加車両のスピード別車両ってなに？

ジムカーナ・サーキットトライアル・ダートトライアル共通の車両規定の中で、もっとも緩やかな規定です。
 簡単に言うと、ナンバーが付いていればOK！
 車種も基本的にはなんでもOK！ もちろんノーマル・AT・ハイブリッドなどなど
 ただし、ストレートマフラーや、フェンダーからタイヤが著しくはみ出ている、ヘッドライトが付いていない…などNG。
 オープンカーはロールバーが必要で。

筑波サーキットまでのアクセス

会場は都心から約1時間30分の筑波サーキット！

電車の場合	東京駅	秋葉原駅	つくばエクスプレス	守谷駅	常磐線	常陸大宮駅	筑波サーキット
所要時間	約2時間	約15分	約15分	約15分	約15分	約15分	
バスの場合	新宿駅	秋葉原駅	つくばエクスプレス	守谷駅	常磐線	常陸大宮駅	筑波サーキット
所要時間	約2時間～2時間半	約15分	約15分	約15分	約15分	約15分	
バイクの場合	東北道 久喜白岡JCTから	常磐道 三郷IC	常磐道 谷和原IC	筑波サーキット			
所要時間	約40分	約15分	約15分				
車の場合	東関東道 大栗JCTから	常磐道 常総IC	常磐道 谷和原IC	筑波サーキット			
所要時間	約70分	約15分	約15分				
	都心から	常磐道 三郷IC	常磐道 谷和原IC	筑波サーキット			
所要時間	約70分	約15分	約15分				

筑波サーキット <http://www.jasc.or.jp> 〒304-0824 茨城県下妻市村岡乙 159 TEL 0296-44-3146 FAX 0296-43-1115

サーキットルートガイド

- ① 常磐自動車道、谷和原ICで降りる。料金所を出たら左方向へ進む。
- ② 294号を下妻・下館方面へ進む。バイパスと旧道との分岐は右(道なり)にバイパスを進む。
- ③ I.Cから15分くらい走ると、右にパチンコワコー、左にマクドナルド&ENEOSのガソリンスタンドがある交差点を左折。
- ④ ENEOSの交差点から約3.8km、リスカ(うまい棒)の看板の信号を右折。10分くらいでサーキット正面に到着。

イベントの目的、各部門のコンセプト、参加者層および車両

イベントの目的

クレバーサーキットトライアルは多くの方にサーキット走行を楽しんで頂くことを目的として開催します。特に初級者の方はこのイベントをきっかけにモータースポーツをスタートさせ、末長く楽しんで頂ければ幸いです。モータースポーツというと「勝った、負けた」というところに目が行ってしまいますが、このイベントは「勝った、負けた」だけでなく、同じ自動車好きが集い、みんなで楽しい時間を共有できるイベントにしたいと思います。

A部門

Aライセンス取得を目的とした方、限定クラス

「初めてサーキットを走る」という方が毎回7割前後。「いきなり速い人達と走るのはちょっと怖い」という声も多く、Aライクラス(A部門)を作りました。

車種は軽自動車、セダン、スポーツカー、ハイブリッドとあらゆる車が走りますが、皆さんの目標は、あくまでもAライ取得。

各自無理をせずに走行しています。

一番初級のクラスではありますが、この中から明日のレーシングドライバーが誕生します。

ライセンスは国内Bライセンスが必要。

B部門 取りあえず目標1分13秒のB-1、13秒をクリアしたらB-2へ

Aライ/Bライは取った。でも残念ながらみんながレースに出場するわけではない。ジムカーナの県戦に出場するわけでもない。

でも何もしないのではせっかく取ったライセンスももったいない。

Aライ/Bライ講習会を受講された方が、また手軽に走りに来られる、一緒に講習を受けた仲間に会える、そして取得したライセンスを有効に使って頂けるイベントがB部門。

なんと！目標タイムによってクラス分けをします。

車は何でもOK！ですが、改造はノーマルからライトチューンくらいまで。Sタイヤの使用は禁止。あまり速く走ってしまうと章典外となってしまいます。でもこれは対象を初級～中級者としている証。

シーズン途中からの参加を容易にする為に、あえてシリーズ表彰は行いません。

賞品の授与は1位、4位、7位、10位、飛び賞形式、これも初級～中級者としている証。

ライセンスは国内AまたはBが必要。

C部門

タイムアタックバトルを楽しみたい方、速い人と走って自分の走りに磨きをかけたい方

シリーズ制覇を狙いたい方向け

中級～上級クラス

ただし、今までのイベント開催の経緯によりライセンス不要のクローズドクラスとして開催。

Sタイヤにはタイムハンデあり。上位入賞者には次戦タイムハンデあり。

シリーズ表彰も行います。

車種表示 (小)=ノーマルに近い (大)=改造が多い の略

タイヤサイズや車種によりさらに4クラスを設定

C-86&BRZ 型式ZN6またはZC6限定クラス。過給機の装着は不可

C-1クラス 最大タイヤ幅225までの車両。排気量は2000ccまで(NA)、車重900kg以上
主な車種 シビック(小)、インテグラ(小)、ロードスター(小)、

C-2クラス 最大タイヤ幅255までの車両
主な車種 ランサー(小)、インプレッサ(小)、シルビア(小)、RX-8(中)、RX-7(小)、32GTR(小)、エキシージ、シビック(大)、インテグラ(大)、S2000(中)など
※NAは-1秒のハンデあり

C-3クラス 最大タイヤ幅255を超える車両
主な車種 ランサー(大)、インプレッサ(大)、シルビア(大)、RX-7(大)、GTR、ポルシェ、フェラーリ、NSX